

★ 第 134 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2017 年 12 月 16 日（土）～17 日（日）

会場：九州大学 箱崎キャンパス

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 19 番 1 号

（報告会場:文学部 4 階会議室）

※持ち時間は **30 分**（報告 20 分：質疑 10 分）が標準です。レジュメや資料は 40 部程度ご準備ください。報告にてプロジェクター、PC が使えます。

※なお今回の例会に併せた形での編集委員会は開催しません。

12 月 16 日(土)

開 会 13:00

自由報告部会I (13:05～14:35)

1. 「就労を通じた若者の社会的包摂——地域若者サポートステーションを事例として」
金本 佑太（九州大学大学院）
2. 「貧困ならびに生活困窮者支援に関する研究の整理」
稲月 正（北九州市立大学）
3. 「施設内暴力の解消に向けた臨床社会学的研究——ネットワーク分析を活用して」
桑畑 洋一郎（山口大学）

=Coffee Break(10 分)=

自由報告部会II (14:45～16:45)

1. 「発展途上国における開発と災害——スマトラ地震の事例」
室井 研二（名古屋大学）
2. 「ウィーン大学日本学研究所の Aso 1.0 から Aso 2.0 へ向けた取り組み」
ヴィルヘルム ヨハネス（慶應義塾大学）
3. 「熊本県の農山村に近年見られる移住——阿蘇市を例にした郷土意識に重点を置いた調査」
ミセルカ アントニア（熊本大学）
4. 「地域づくり分野における中間支援組織の展開——島根県を事例として」
東 良太（島根県中山間地域研究センター）

懇親会 17:15～ 文学部 4 階会議室 会費（有職者 5,000 円、有職者以外 3,000 円）

12 月 17 日(日)

自由報告部会III (10:30～12:00)

1. 「アマチュアオーケストラ活動におけるモチベーションとスキル——高齢者の社会活動として」
藤井 美樹（北陸先端科学技術大学院大学）
2. 「エイズ対策における予防啓発活動の位置づけについての考察」
井上 智史（九州大学大学院）
3. 「自我と圏論」
大山 智徳（日本郵便）

閉 会 12:00